

## 2 学力向上推進計画

### I 目標

『確かな学力』を向上させ『生きる力』を育む

- 「問い」を持ち、主体的に学ぶ生徒の育成
- 自己肯定感を高める授業づくりの推進

### II 推進の視点（県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトIIにおける3つの視点）

- 1 自己肯定感の高まり（児童生徒が自分のよさや可能性を認識すること）
- 2 学び・育ちの実感（児童生徒が学ぶことの意義や価値を実感し、資質・能力を伸ばすこと）
- 3 組織的な関わり（教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと）

### III 基本方針

「沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトII～学びの質を高める授業改善・学校改善～」に基づき、学力向上を推進する。

<p>1. 日常的な授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元を見通した授業づくり</li> <li>○身に付けたい力を明確にした授業づくり</li> <li>○「問い」が生まれる授業実践（校内研究テーマ）</li> <li>○シラバス(指導計画・評価計画)の作成</li> <li>○1人1回公開授業</li> <li>○教科会の充実（月1回開催）</li> <li>○学習評価手立てウィークにおける補習</li> </ul>	<p>2. 校内研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「指導と評価の一体化」に関する研修の充実</li> <li>○各種調査等の分析による課題の共有化</li> <li>○OJTを生かした校内研修の充実 （ICT活用・Q-Uを生かした学級経営）</li> <li>○教科総合訪問（国数英道）</li> <li>○校区内小学校との相互授業参観 ＜小中連携＞</li> </ul>
<p>3. 学習規律の徹底と学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2分前着席と1分前黙想＜小中連携＞</li> <li>○学習座席の工夫</li> <li>○連絡事項等のメモの習慣化＜小中連携＞</li> </ul>	<p>4. 自学自習力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業と連動した宿題</li> <li>○家庭学習の習慣化（教科曜日固定制）</li> <li>○実力テストに向けた自主学习</li> <li>○キャリア・パスポートの活用</li> </ul>

### IV 取組事項及び取組方法

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の実現による「確かな学力」の向上の推進
  - (1) 授業と連動した授業研究を行う。
  - (2) 研修と学力向上推進の取組みと連動した教科会の充実に努める。
  - (3) 教科等でICT機器を有効活用し、「授業の基本事項」を踏まえた指導を行う。
  - (4) 目標読書冊数を設定し、「読書活動」を推進する。
- 2 「自己肯定感の高まり」「学び・育ちの実感」の視点に立った授業デザイン
  - (1) 単元を見通した授業デザインと評価計画（シラバス）の作成
  - (2) 他者と関わりながら、課題の解決に向かい「問い」が生まれる授業の実践

- (3) 個別支援（個に応じた学習支援）の計画的な推進
- (4) 『「問い」が生まれる授業サポートガイド』『授業改善ツール』『学校改善ツール』の活用

### 3 小中連携した系統的・継続的な授業改善

#### (1) 【学習規律】揃える実践

**始業前** ①学習用具の準備（その授業に必要な用具だけを机の上に揃える）

- ②2分前着席・1分前黙想
- ③着席のままで始業のあいさつ

**授業中** ①正しい姿勢で、話し手を見て聞く

- ②めあて（青色）まとめ（赤色）

#### (2) 【学習環境の整備】揃える実践

##### ①学習リーダーを核とする座席配置

- ア 担任が生徒・教科担任と連携し、学習リーダーを決める
- イ 学習リーダーを核にして、学習効果が高まる座席を配慮する
- ウ 全教科において、学習リーダーを効果的に活用する

##### ②日程や連絡事項の可視化とメモの習慣化

- ア 全学級に連絡記録用ホワイトボードを揃える
- イ 全生徒にメモ帳（ポケットサイズ）を一括購入し、配布する

- (3) 児童生徒と交流し、スムーズに中学校生活につなげる
- (4) 校区内小中の授業を相互参観し、小中で連携した授業改善を行う。
- (5) 小中連携担当者会議を毎月1回程度、設定する。

### 4 個に応じた学習支援の取組

#### (1) 実力テスト対策ウィーク

##### ①ねらい

学習支援の期間を設け、全校体制で取り組むことで生徒が主体的に学習に取り組む雰囲気をつくり、学力向上の推進を図る。

##### ②方針

- ア 実力テスト1週間前の放課後を利用して、学習支援の時間を設定する。この期間は部活動の開始を16:30~とし、学習支援の時間を確保する。
- イ 開始時間を16:00~とし、終了時間については、教科裁量とする。
- ウ 各学年各教科で、期間中に必要に応じて、学習支援を計画する。
- エ 学習内容・対象生徒は教科裁量とする。ただし、学習内容が補習に参加しない生徒にとって不利にならないように充分検討する。
- オ 学推委員会(研究主任・学推担当・学年担当)で、各学年・各教科の学習支援計画をとりまとめ、場所等を調整する
- カ 学年掲示板や校内放送等を利用し、生徒へ周知する。(広報委員会・放送委員会等の活用)

#### (2) 学習評価手立てウィーク

##### ①ねらい

ア 指導と評価の一体化の観点から、観点別学習状況評価において「努力を要する」状況にある生徒について、「おおむね満足である」状況に引き上げるよう、個に応じた指導を通して学習の改善を図る。

イ 学習支援の期間を設け、全校体制で取り組むことで生徒が課題に向き合う雰囲気をつくり、学力向上の推進を図る。

②方針

ア 期間日数を9教科に割り振って、対象生徒が複数の学習支援を受けられるようにする(5教科は2日、技能教科は1日を設定)。ただし、1日に2~3教科の割り振りになるため、学年教科間で対象生徒を調整する。

イ 学習支援の時間は、6校時終了後 16:00~16:30 とする。終了時間は教科裁量とする。必要に応じて、学習補助員も活用できる。

ウ 学年教科担当で、対象生徒を選定し、名簿等を作成する。学年学推担当で対象生徒を集約し、学年で共有を図る。生徒への周知は担任を通して行う。

エ 学習手立てウィーク期間中、対象生徒は部活動よりも学習支援の参加を優先する。部顧問は対象生徒を把握し、激励する。

オ 長期欠席の生徒や WING 生徒については、学級担任や担当と連携し、学習支援(課題プリントやクロームブックの活用)を行う。

カ 評価確定にあたっては、必ず教科会で妥当性・信頼性を検討する。

5 自学自習力の育成

(1) 家庭学習の習慣化

①授業と連動した宿題を課し、評価に反映する。

②5教科を曜日固定制にして、見通しを持った家庭学習の習慣化を図る。

〈課題の出し方〉

5教科で割り振られた曜日に課題を出す。課題の回収は1週間後とし、回収した日には次の新しい課題を出す。

**【例】月曜→理科 火曜→国語 水曜→数学 木曜→社会 金曜→英語**

月曜日の場合

月	火	水	木	金	土	日
1. 課題①を出す	2.	3.	4.	5.	7.	8.
9. 課題①回収	10.	11.	12.	13.	14.	15.
課題②を出す						
16. 課題②回収	17.	18.	19.	20.	21.	22.
課題③を出す						

第1月曜日:課題①を出す

第2月曜日:課題①の提出・課題②を出す

第3月曜日:課題②の提出・課題③を出す

③宿題の提出は、教科係で回収し、教科担任へ提出する。

(2) キャリア教育との関連

- ①実力テスト(年2回実施)に向けて、3週間前には各教科の出題範囲や学習のポイント等を生徒へ周知する。
- ②キャリア・パスポートを活用し、実力テストに向けた目標や計画を立て、主体的に学習に取り組ませる。
- ③実力テスト実施後には、キャリア・パスポートを活用して自己の学習の様子を振り返り、次の学習の見通しを持たせる。

6 各種調査の結果の分析と活用

- (1) 全国学力・学習状況調査、市標準学力調査、県学力定着度調査(学びのたしかめ)、県到達度調査、生徒質問紙・学校質問紙など、実施後に教科会や学力向上推委員会等で結果を分析し、授業改善に活かす。
- (2) 上記調査の結果分析をもとに、学力向上推進の取組の検証を行う。
  - ①学力の向上…全国学力調査・市学力調査・学びのたしかめ・県到達度調査などの過年度比較及び県平均との比較
  - ②自己肯定感の高まり…県版生徒質問紙や学校質問紙などによる意識調査の回答割合、過年度比較や県平均との比較
  - ③学び・育ちの実感…本校職員へのアンケートや生徒アンケートによる意識調査の回答割合、意見等の比較
  - ④組織的な関わり……県版生徒質問紙や学校質問紙などによる意識調査の回答割合、過年度比較や県平均との比較
  - ⑤自学自習力の育成…県版生徒質問紙や学校質問紙などによる意識調査の回答割合、過年度比較や県平均との比較

V 推進組織



## VI 実施計画

月	取組内容	各種調査・実力テスト・検定等	行事
4	校内研修 教科会 教科・学年 学推担当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修計画の確認</li> <li>・学力向上推進計画の確認</li> <li>・評価に関する基本的な考え方の確認</li> <li>・小中連携(学習規律・共通実践事項)</li> <li>・単元指導・評価計画の確認</li> <li>・年間指導・評価計画(シラバス)作成</li> <li>・各教科における取組事項の確認</li> </ul> 学力規律強化月間取組(4/11～5/31) →生徒への学力向上に関する説明 (学習規律・家庭学習・評価他)	◆4/19(火) 3年：全国学力・学習状況調査 (国・数・質問紙) 12年：市標準学力調査 (1年数・2年国数) ◇各教科単元評価テスト	始業式 入学式 授業開き スポレク
5	教科・学年 学推担当 教科会 担任 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力規律強化月間取組(4/11～5/31) →学習規律の定着度の確認</li> <li>・授業づくり・学習評価・学習支援</li> <li>・全国学力・学習状況調査(3年国数質問紙)分析・活用 ※自校採点結果</li> <li>・一人1回公開授業開始～12月</li> <li>・教育相談における学習に関する相談</li> </ul>	◇各教科単元評価テスト ○英語検定①	教育相談 三者面談 小中連携(数) 市研修の日(部長)
6	図書館教育・担任 校内研修 教科会 教科・学年 学推担当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動の推進及び読書量調査(平和教育との関連含む)</li> <li>・教科総合訪問(国数英道) (指導案検討・授業研究会・全体会)</li> </ul> ●6/27(月)～7/5(火) 実力テスト対策ウィーク	◆6/17(木) 県学力定着度調査(学びの確かめ) 1年：国数 2年：国数英 3年：英 ◇各教科単元評価テスト ○数学検定①	読書月間 平和月間 夏季大会 生徒総会 教科総合訪問 Q-Uテスト① 市研修の日①
7	教科会 担任 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業づくり・学習評価・学習支援</li> <li>・教科における学力向上推進状況(中間チェック)</li> <li>・学びの確かめ結果分析・活用</li> <li>・三者面談における学習に関する相談</li> </ul>	◆7/4(月)5(火) 第1回実力テスト(国社数/理英) ◆7/7(木) 第1回実力テスト(音美技家) ◇各教科単元評価テスト ○漢字検定①	実力テスト① 市研修の日② 1学期前半終了 夏休み 県夏季大会 三者面談
8	校内研修 教科会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用研修等</li> <li>・授業づくり・学習評価・学習支援</li> </ul>	○数学検定②	市寺子屋学習会 市イングリッシュ サマースクール 1学校後半開始
9	教科会 教科・学年 学推担当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査(3年国数質問紙)分析・活用 ※全国結果</li> <li>・1学期学習評価総括</li> </ul> ●9/12(月)～9/22(木) 学習評価手立てウィーク	◇各教科単元評価テスト	小中連携(数) 3年進路・修学旅行説明会 地区陸上大会 評価交換

10	教科・学年 学推担当 教科会	学力向上強化月間(10/13～11/25) →家庭学習習慣化の確認 ・授業づくり・学習評価・学習支援	◆10/18(火)19(水) 3年市学力到達度調査(国理英/社数) ◇各教科単元評価テスト  ○英語検定② ○漢字検定②	1学期終業式 秋休み 2学期始業式 市研修の日② Q-Uテスト② 3年修学旅行
11	教科・学年 学推担当 教科会 担任	学力向上強化月間(10/13～11/25) ・家庭学習習慣化の確認 ・授業づくり・学習評価・学習支援 ・教育相談における学習に関する相談	◇各教科単元評価テスト  ○数学検定③	教育相談 合唱コンクール 次年度計画検討
12	教科会  担任  学推担当	・授業づくり・学習評価・学習支援 ・教科における学力向上推進のまとめ ・一人1回公開授業～12月 ・三者面談における学習・進路に関する相談 ○学力向上推進のまとめ(成果と課題) ○報告書・資料のまとめ	◆12/9(金) 3年第2回実力テスト(音美技家) ◇各教科単元評価テスト	2年修学旅行 3年実力テスト② 三者面談 2学期前半終了 冬休み
1	教科・学年 学推担当  教科会 学推担当	学力向上強化月間(1/6～3月末) →学習の定着度の確認とフォロー ●1/16(月)～26(木) 3年学習評価手立てウィーク 12年実力テスト対策ウィーク ・授業づくり・学習評価・学習支援 ○次年度取組の準備	◆1/10(火)11(水) 3年第2回実力テスト(国理英/社数) ◆1/24(火)25(水) 12年第2回実力テスト(国理英/社数) ◇各教科単元評価テスト ○英語検定③	2学期後半開始 実力テスト② 3年評価交換 3年進路決定面談 次年度計画提案
2	教科・学年 学推担当  教科会	学力向上強化月間(1/6～3月末) →学習の定着度の確認とフォロー ●2/16(木)～27(月) 12年学習評価手立てウィーク ・2学期・学年末学習評価総括 ・県学力到達度調査結果分析・活用	◆2/15(水) 12年県学力到達度調査(国数英) ◆2/15(水)16(木) 3年模擬テスト(国理英/社数) ◇各教科単元評価テスト ○数学検定④	到達度調査 3年模擬テスト
3	教科・学年 学推担当  教科会	学力向上強化月間(1/6～3月末) →既習事項の定着(春休みの宿題)  ・年間指導計画・評価計画の見直し	◆県立高校学力検査 ◇各教科単元評価テスト	12年評価交換 卒業式 修了式 春休み